

~~~~~好きです、日本！！~~~~~  
~~~~~イケイケあかいかいけ！赤池誠章国政ニュース 1月1日号~~~~~

新春の候、ご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。
大寒波到来で、体調管理が難しい中、お元気でしょうか。
初日の出を拝みつつ、私は今年も頑張ろうと気合を入れています。
今年一年、旧年中と変わらず、ご指導ご支援を心よりお願い申し上げます。

皇居では、天皇陛下が古代と同様の装束で、早朝に「四方拝」と呼ばれる、宮中祭祀を催します。皇祖神や四方の神々、初代や先帝三代の御陵に、1年間の豊作と国民の無病息災を祈るものです。原形は平安時代から続くと言います。新年に当たり、このような国に生まれた有難さを感じます。

●2012年問題—国際情勢は緊張

一年の計は元旦にあり。年神様をお招きして、心身ともに一新して、平成23年（2011）卯年を安らかにつつがなく過ごしたいものです。安らかに過ごしたいという私たちの願いとは反対に国際情勢は緊張の度合いを高めています。

今年は「2012年問題」の前年に当たり、既に「2012年問題」が始まっていると言っても過言ではありません。「2012年問題」とは、2012年12月にマヤの暦が終わっていることから、人類が滅亡するという予言・・・・のことではありません。

主要国の国家リーダーの交代時期に当たって、国内外に波乱や問題が次々と起こるのではないかとされていることです。米国とロシア、韓国の大統領選があり、シナも国家主席の交代が予想されています。北朝鮮も後継指名があり、その動向が注目されます。国内の体制を固めるために対外的に強硬策に出る傾向が指摘されています。既に、ロシア大統領の北方領土初訪問、北朝鮮の韓国砲撃などです。今年は、さらなる国際紛争が懸念されます。

その中でも一番の問題は、シナ（中国）です。

年末12月31日付の産経新聞に、一昨年2月にシナの原子力潜水艦が日米の警戒網をかいくぐって、通過していたことが、明らかにされました。ノーマークで突破されたのは初めてだったといいます。

<http://sankei.jp.msn.com/politics/policy/101231/plc1012310134001-n1.htm>

この事件について裏が取れていませんが、これが事実だとすれば、シナの活発化する日本近海での多くの軍事行動の一つであり、昨年9月の尖閣事件は偶発的事件ではなく、シナの軍事戦略の一環だということを、改めて示唆しています。

以前も指摘しましたが、日本近海でのシナの軍事行動は、「防衛白書」で公開されているものだけでも、以下です。

- (1) 平成16年11月 チャイナの原子力潜水艦が、国際法違反となるわが国宮古島近海の領海内での潜没航行
- (2) 平成17年9月 東シナ海の檜(チャイナ名「天外天」)ガス田付近をソブレメンヌイ級駆逐艦(ソ連・ロシア製6500トン)1隻を含む5隻の艦艇が航行し、その一部が同ガス田の採掘施設を周回
- (3) 平成18年10月 沖縄近海でソソ級潜水艦(チャイナ製ディーゼルエンジン2250トン)が米空母キティホークの近傍に浮上
- (4) 平成20年10月 ソブレメンヌイ級駆逐艦など4隻の艦艇が津軽海峡を初通過し、太平洋を南下してわが国を周回
- (5) 平成20年11月 最新鋭のルージュウ級駆逐艦など4隻の艦艇が沖縄本島と宮古島の間を通過して太平洋に進出
- (6) 平成20年12月 チャイナ国家海洋局の海洋調査船2隻が尖閣諸島付近のわが国領海において、徘徊・漂泊といった国際法上認められない

航行を行う事案が発生

(7)平成21年6月 ルージョウ級駆逐艦など5隻の艦艇が沖縄本島と宮古島の間を通過して沖ノ鳥島北東の海域に進出し、訓練

(8)平成22年3月 ルージョウ級駆逐艦など6隻の艦艇が沖縄本島と宮古島の間を通過して太平洋に進出。これらの艦艇はその後、南シナ海に進出

(9)平成22年4月 キロ級潜水艦やソブレメンヌイ級駆逐艦など10隻の艦艇が沖縄本島と宮古島の間を通過して沖ノ鳥島西方の海域に進出し、訓練。その際、これらの艦艇を監視中の海自護衛艦に対してチャイナの艦載ヘリコプターが近接飛行する事案が複数回発生。

今後も、シナは成長する経済力を背景に、軍事力を増強し続け、益々海洋に進出してきます。日本の安全や石油などの通商ルートは、大変な脅威にさらされ続けるでしょう。

その上、シナは高度経済成長を維持するために、シナ政府は市場に資金を供給するよう金融機関に強制指令を出しています。その過剰資金が不動産バブルを招いています。そして、それはシナの国内にとどまらず、日本にも影響しています。

問題は、シナが基本的な価値観を共有する自由諸国ではないことです。普通であれば、個人的な国際商取引で済むことが、シナの場合はそうはいきません。特に、昨年7月1日から施行されたシナの国家総動員法は、有事の際に人、金、物等を合法的に動員、徴用できる法律です。近年日本のマスコミ株の購入や、水源林の買収は、有事の際にはシナ共産党の武器に変わります。

シナは、「一つの中国」の方針のもと、台湾を自国領に組み入れることを目標にしてきました。2008年の馬英九国民党政権が政権を奪還し、大陸との経済交流が進んだと聞いています。台湾の総統選挙も2012年に実施される予定であり、シナと台湾間で何かが起こる可能性があります。

21世紀の問題はシナ問題ということ、昨年の尖閣事件によって私たちは肌身で知ったわけです。今年もその傾向が、陰に陽に加速度がついて進行すると考えた方が良いでしょう。シナに依存することは政治経済的に大変なリスクがあることを肝に銘じるべきです。日本はシナに依存することなく、親日的で基本的価値観を共有する諸国との関係を密とすることを外交方針とし、民間企業もそれに沿って海外展開を図るべきです。

●国内は民主党問題

緊迫の度合いを増す国際情勢に対応する民主党政権は、ホント「惨」憺たる「惨」状です。惨を二回も使わないと意を尽くせないと思う程です。政権交代時の「政治主導」のスローガンだけが空しく響き、選挙公約のマニフェストは虫食い状態です。「政治とカネ」問題を引きずり、予算や税制は財務省に頼りきっています。政務三役会議に事務方の参加を認めざるを得なくなり、結局官僚に頼らなくては、政権維持もままならないという状況です。外交防衛はご承知の通り、無定見と弱腰を繰り返しています。

国益のために、一日も早い解散総選挙を要求します。

その大きなポイントとなる時期は、今年の4月です。予算と統一地方選が重なります。

1月下旬から通常国会が召集され、来年度予算案が審議されます。予算案は衆議院の多数によって可決されれば、参議院の可決がなくても、30日間で自然成立します。問題は、予算関連法案です。予算が通過しても、関連法案が成立しないと予算が執行できないのです。法律案は衆参両院の可決があって成立します。予算関連法案が成立しなくなれば、政権は早晚行き詰まります。だからこそ、菅政権は衆院の3分の2以上の議席を求めて、社民党への再婚申入れや、政策の差が大きい「たちあがれ日本」への露骨なラブコールを行っています。そして、本命は公明党です。政策の違いが少ない公明党と連立を組めれば、衆参両院のねじれを一気に解消できるからです。しかし、公明党は統一地方選での全候補の勝利を至上命題として、政治とカネ問題を抱え、国民から

の支持率が低い、菅民主党政権とは一線を画しています。

昨夏の参院選以降、地方選で民主党は連戦連敗です。松戸市議選、茨城県議選、西東京市議選と民主党の立候補者は負け続けています。世論の動向がそのまま地方選の結果として出ています。全国各地で行われる4月の統一地方選は、このままでは民主党の苦戦、敗戦が必至です。

菅首相は、野党対策と世論対策の一石二鳥を狙い、「政治とカネ」問題に取り組みねばならなくなりました。それが、小沢元幹事長の政治倫理審査会への出席要請です。昨年6月の政権発足時と9月の代表選後の3度目を狙い、「脱小沢」「小沢切り」で国民からの支持率アップを狙っています。

小沢元幹事長は、野党や世論対策の「捨て駒」となることに、当然拒否の姿勢を示していました。しかし、党を割ってもついてくる議員は20名前後と言われ、衆議院で過半数を割り込ませることに必要な60名以上の衆議院議員の確保ができていないと言われていています。小沢元幹事長は、検察審査会の2度目の議決を経て、今年1月か2月には強制起訴され、裁判が始まり、被告人となります。当然政治活動が実質制限されます。これに、政倫審出席拒否によって、離党勧告されるとなると、ますます弱体化を余儀なくされます。政治生命も風前の灯です。それが、出席意向表明に繋がったのでしょうか。40年以上の政治活動の中で、ここまで露骨に圧力をかけられ続けることは、なかったのではないのでしょうか。所詮自業自得なのですが、菅首相の政権延命策の道具にされ、腹わたが煮えくり返っていると思います。その腹いせ、引き換えに、仙谷官房長官等の問責決議を盾にして、辞職を要求しています。

菅首相は「(支持率)1%となってもやめない」(時事平成22年11月28日付)と漏らしたと言います。本音です。むき出しの権力欲です。私も関係者から、たまたま出た話ではなく、菅首相の「信念」だということを聞きました。反権力を標榜していた人が権力を握ると、権力を手段として国民のために何をするかではなく、権力自体が目的化するという、共産主義によく見られる政治学の法則が表われています。それが、証明される1年ではないことだけは祈るしかありません。政権維持のために、小沢元幹事長を政倫審に出席させ、そして問責決議を受けた仙谷官房長官や馬淵国交相を交代させるべく内閣改造も行うでしょう。

●菅首相の年頭所感

菅首相は、1月1日に年頭所感を発表しました。

全文はこちら <http://www.kantei.go.jp/jp/kan/statement/201101/01nentou.html>

一読して、落胆しました。国づくりの3つの理念を説いていますが、国民の求めるものとズレが大変大きく、とてもこれでは今年の日本の先行きも不透明で、困難が伴うものとなるなと感じました。

第一の理念が、明治維新、戦後の改革につぐ、第三の開国としての「平成の開国」を掲げ、国内農業振興と両立しながら、TPP(環太平洋パートナーシップ)の推進を謳っています。安全保障面では、昨年問題となった尖閣事件や北方領土問題に触れず、抽象的にわずか三行で言ったに過ぎません。TPPも大事ですが、国民が求めているのは、日本の安全保障でしょう。それを確実にするための各論がありません。

第二の理念は、「最小不幸社会の実現」を掲げています。これ程評判の悪いスローガンはないのですが、一向に引っ込める気配がありません。これこそが、心底首相自体の思想信条なのだと思います。その項目では「国民的議論を深め、今年半ばまでに、社会保障制度の全体像と併せ、消費税を含めた抜本改革の姿を示したい」と言っています。昨年参院選前に言いだしのですから、遅過ぎます。今年半ばといわず、すぐ出すべきです。

第三の理念は、「不条理を正す政治」だと言っています。不条理とはまた大仰ですが、ここでは少数者保護の政策と政治とカネの問題を取り上げています。私から言わせれば、民主党の存在と政策が不条理の極みでしょう。政治とカネの問題は政権党になってから起こったわけでなく、以前からの問題です。政策面でも、一昨年の総選挙でのマニフェストの実現は無理でしたと

国民に詫びるのが先決です。

最後に、京都や兵庫、千葉、山形等への現地視察の話を入れていますが、今更総理になってから現地視察しても手遅れであり、今まで野党時代に何をしていたのかと思います。首相は昭和55年に国会議員になって以来30年間、自民党の政治とカネの追及、丸山ワクチン問題、薬害エイズ問題、都市問題、有明海の公共事業見直し等、自分の好きなこと、マスコミに話題になることしかしてこなかったのではないかと思います。日本国家の基本問題である外交防衛や教育、経済などには、無関心だったのでしょう。その傾向は、菅首相に限らず、民主党全般に言えることですが・・・

菅首相が、新年早々内閣改造して、国会を召集し、予算を何とか通過させたとしても、世論がこのままでは統一地方選の敗北必至です。その結果、首相交代が党の内外で叫ばれても、「1%信念」を菅首相が貫けば、益々混乱、混迷し、そして混濁の世の中に日本はなってしまいます。

● 2月2日に「頑張れ日本」の大会を山梨で開催

それを阻止するためには、何とんでも国民の意思表示が大事です。保守派の国民運動体である田母神俊雄会長率いる「頑張れ日本！全国行動委員会」の一昨年来の集会、デモ等の活動は、「定住外国人参政権阻止」「尖閣侵略阻止」「打倒民主党政権」等、国民意識を覚醒させ、成果を出しつつあります。私も何度も参加させて頂き、一般の老若男女が日本の危機を痛感し、デモや集会に参加する姿に感銘を受けました。今年2月2日に甲府市で、田母神俊雄会長を招いての山梨県本部設立大会を開催します。ぜひ一人でも多くのご参加をお願い致します。

詳細チラシはこちら http://www.akaike-office.net/report/2011/H230202_ganbare.pdf

そして、それらの国民運動を受けて、議会を通じて具現化しているのが国民政党、保守政党です。その政党であるはずの自民党の再建もまったなしです。今年自民党は、1月23日に第78回党大会を開催します。年に1回の定期大会です。民主党政権の混乱ぶりを受けて、そこで党内が一致団結して、国民に向けて明確なメッセージを発信することが大事です。私は、それまでに300小選挙区で支部長を選任して、300人が登壇して、衆議院選挙に向けて公約大綱を発表すべきだと思っていました。特に、民主党との違いを明らかにすべく、自主憲法制定、自主防衛力強化、集団的自衛権行使、歴史教育（日教組教育）の見直し、公共投資による社会基盤の再構築、選挙制度見直し等、保守の理念に基づく、政策を力強く打ち出すべきです。

残念ながら現状、党大会まで残り20日余りで、とてもその態勢ができていません。地元山梨での小選挙区支部長選任を見ても、私も公募に応募しましたが、昨年末までに決めると言っていたのが、越年してしまいました。今年は統一地方選の年です。1月13日（木）からは山梨県知事選が始まります。30日（日）が投開票です。23日（日）からは甲府市長選挙もあります。どちらも対抗馬は共産党のみで、無風状態です。地方選挙を理由に、23日の党大会までに支部長選任ができないということのないように、県連の指導力が問われています。また、党本部も同様です。地方組織に任せきりの結果が、1年4カ月も経っても、3分の1も支部長が決まっていないという事態を引き起こしています。党本部の指導力も問われています。

● 「2012年問題」で一緒に民主党政権も交代へ

ここまで書いてきて、ホント新年早々嫌になってきます。

政治が権力闘争なのは、政治家の末端にいるものとして、よく分かっています。しかし、権力闘争には大義名分、政策とセットであることが、政治家のマナーだと思っていました。政治家の質が劣化し、力をむき出しにした政策なき世論受けを狙ったパフォーマンスばかりの民主党にはウンザリです。国際的にはシナ、国内では民主党、この2つの「ガン」を何とかできるかが、

私たちが今年、安らかに健やかに暮らせるかどうかのキーポイントです。
「民主党はダメだけど、それに対抗する自民党もねえ・・・」昨年よく言われました。これを今年返上したいものです。

そのためにも、私自身、この一年皆様方のご指導ご支援を受けて、引き続き全力を尽くす覚悟です。まずは、1月23日の自民党大会までに、衆議院支部長に選任してほしいと思っております。
2012年問題が既に始まっている中で、日本の民主党政権も一緒に辞めるべく、引き続き今年一年、何卒宜しくお願い致します。

●今後の予定

- 1) 赤池まさあき後援会「誠友会」新年交歓会
内容：新年に当たり交歓会を開催します。お気軽にご参加下さい。
日時：1月8日（土）午前0時30分から（90分程）
会場：甲府市朝日町商店街 地域コミュニティ広場「花水木」
会費：1人1千円（当日徴収）
連絡先：赤池まさあき事務所 TEL 055-237-5523 <http://www.akaike.com>

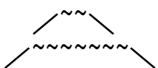
- 2) 日本文化チャンネル桜「日いつる国より」出演
内容：国想う在野議員の会の一員として、中山恭子参議院議員と対談しています。
日時：1月7日（金）午後7時から（30分程）
放送：日本文化チャンネル桜（スカパーかネットで）

- 3) 「尖閣開拓の日」制定記念 街頭行動
目的：石垣市議会が明治年1月14日に尖閣諸島が日本国に編入されたのを記念して、制定されました。それにあわせて、山梨県内においても、尖閣問題と、水源林の買収等も考える街頭行動を行います。
日時：1月14日（金）午後4時30分から（1時間）
場所：甲府駅南口
依頼：チラシ配布等のボランティアを募集しています。
連絡先：赤池まさあき事務所 TEL 055-237-5523 <http://www.akaike.com>

- 4) 赤池まさあきと語る「ネットOFF会」
内容：ネット愛好者の方々との気軽な交流会です。
日時：1月14日（金）午後6時30分から（90分程）
会場：赤池まさあき甲府事務所（甲府市中央1-1-11-2F）
会費：無料
連絡先：赤池まさあき事務所 TEL 055-237-5523 <http://www.akaike.com>

- 5) 頑張れ日本！全国行動委員会山梨県本部設立へ
目的：山梨県において、打倒民主党をめざし、頑張れ日本！全国行動委員会の支部を設立いたします。ぜひご参加下さい。
日時：平成23年2月2日（水）19時～21時
会場：甲府市総合市民会館芸術ホール（甲府市青沼3丁目5-44）地図はこちらへ
登壇者：田母神俊雄、井尻千男、すぎやまこういち、土屋たかゆき、水島聡、三輪和雄、赤池誠章他（敬称略）
主催：頑張れ日本！全国行動委員会、赤池まさあき後援会「誠友会」
後援：日本会議山梨県本部 日本を創新する会山梨倶楽部
連絡先：赤池まさあき事務所 TEL 055-237-5523 <http://www.akaike.com>
チラシ：http://www.akaike-office.net/report/2011/H230202_ganbare.pdf

平成23年1月1日
赤池まさあき



~~~~~  
国づくり、地域づくりは、人づくりから！  
前衆議院議員 赤池 誠章（あかいけ まさあき）  
e-Mail：ma@akaike.com

Web : <http://www.akaike.com>

★メルマガ配信中!★

<http://archive.mag2.com/0000180747/>

★ブログ更新中!★

<http://akaike.blog-freejapan.jp/>

<山梨事務所> 〒400-0032

山梨県甲府市中央 1-1-11-2F

(甲府銀座通り そば処・楽 2階)

地図は [http://www.akaike-office.net/report/2010/H220524\\_office.pdf](http://www.akaike-office.net/report/2010/H220524_office.pdf)

TEL 055-237-5523 FAX 055-237-5281

~~~~~

イケイケあかいけ! 赤池まさあき (山梨1区) 国政ニュース

発行システム: 『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

配信中止はこちら <http://www.mag2.com/m/0000180747.html>
